

千葉市感染症発生動向調査情報

2016年 第21週 (5/23-5/29) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		21週	20週	19週	18週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	27
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	5/23-5/29	5/16-5/22	5/9-5/15	5/2-5/8	5/16-5/22
			21週	20週	19週	18週	20週
小児科	RSウイルス感染症		0	1	0	1	4
	咽頭結膜熱	○	21	10	8	5	56
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		60	40	52	36	437
	感染性胃腸炎		146	119	127	104	693
	水痘		16	4	18	5	40
	手足口病		1	0	3	0	8
	伝染性紅斑		6	2	4	8	37
	突発性発しん		23	15	13	14	90
	百日咳		1	0	0	0	2
	ヘルパンギーナ		0	1	0	0	11
	流行性耳下腺炎		11	8	8	6	145
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	1	6	13	30
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	3
	流行性角結膜炎	→	7	7	4	4	22
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		1	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	2
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	2

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(16件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	10歳未満	ツベルクリン反応検査	結核	女性	50歳代	IGRA検査
結核	男性	30歳代	IGRA検査	結核	女性	50歳代	IGRA検査等
結核	男性	50歳代	病原体等の検出等	急性脳炎	男性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状
結核	男性	70歳代	病原体の検出等	急性脳炎	男性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状
結核	女性	10歳代	IGRA検査	急性脳炎	女性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状
結核	女性	10歳代	画像診断	急性脳炎	女性	10歳代	高熱及び中枢神経症状
結核	女性	20歳代	IGRA検査等	侵襲性インフルエンザ菌感染症	男性	80歳代	病原体の検出
結核	女性	20歳代	IGRA検査等	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	60歳代	病原体の検出

・第21週は、結核10件(95)、急性脳炎4件(18)、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件(4)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(18)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第21週のコメント

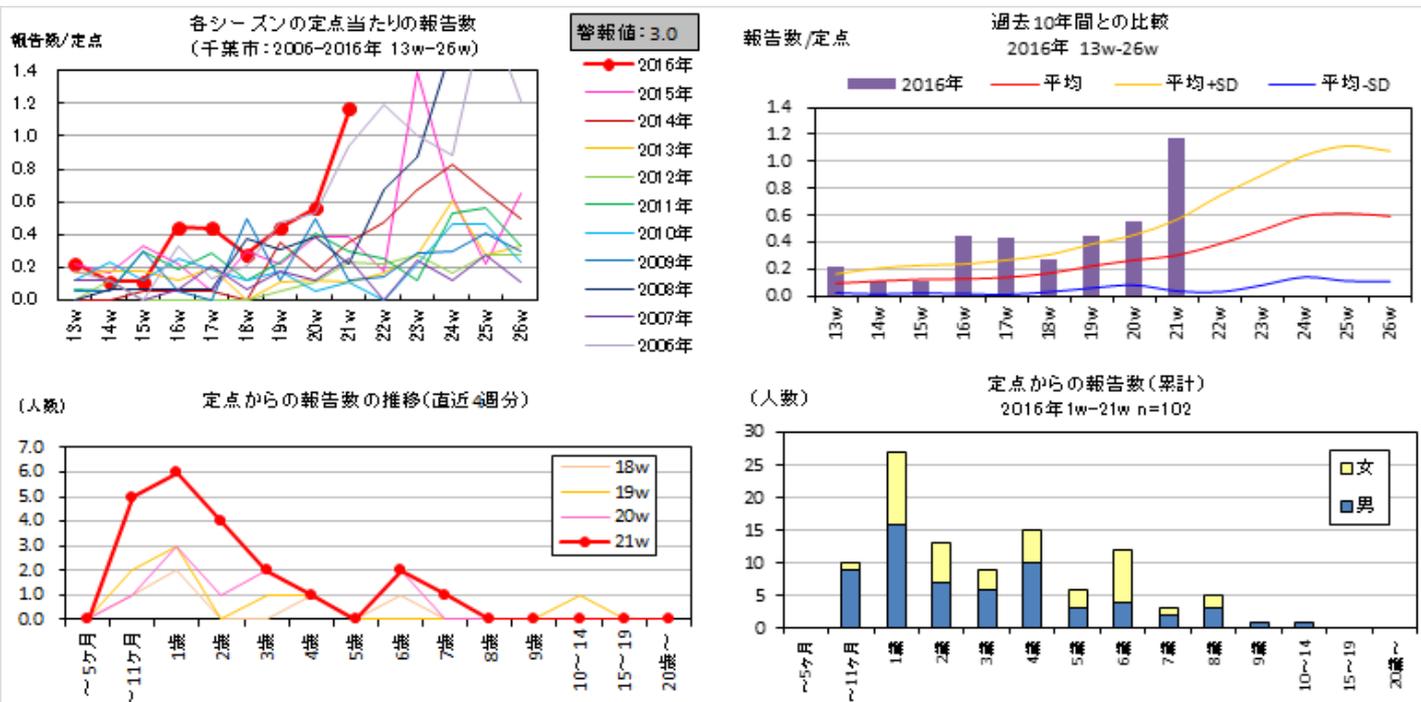
<咽頭結膜熱> 前週から増加し1.17となった。過去10年の同時期と比べると最多。

<流行性角結膜炎> 前週から横ばいで1.40のままとなった。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

<咽頭結膜熱>

全国レベルの第20週は過去9年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、佐賀県、島根県、石川県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより少なめとなっています。千葉市の第21週は前週から増加し1.17となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況は、花見川区及び緑区(2.0/定点)で最多で、花見川区では6~11か月、1歳、3歳及び6歳で発生報告があり、緑区では2歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第21週までの累積報告数(n=102)によると、性別では男性が60.8%(62名)、女性が39.2%(40名)で、年齢階級別では1歳(26.5%:27名)、4歳(14.7%:15名)、2歳(12.7%:13名)の順に多くなっています。



<流行性角結膜炎>

全国レベルの第20週は過去9年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では、長崎県、愛媛県、島根県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同レベルとなっています。千葉市の第21週は前週から横ばいで1.40のままとなり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、美浜区(4.0/定点)で最多で、同区の6~11か月、7歳、10歳代後半及び20歳代で発生報告がありました。2015年第1週から第21週までの累積報告数(n=72)によると、性別では男性が41.7%(30名)、女性が58.3%(42名)で、年齢階級別では30歳代(23.6%:17名)、50歳代(12.5%:9名)、20歳代(9.7%:7名)の順に多くなっています。

